

令和7年度 帯広市立帯広小学校 学校便り

帯小の窓

通いがい、通わせがいある学校、今日もおもしろかったな

～ 学校教育目標 ～

- よく考え、意欲的に学ぶ子
- 命を大切に、たくましくやりぬく子
- 豊かな心を持ち、協力し合う子
- 勤労の大切さを知り、すすんで働く子

NO. 26 令和7年11月12日 発行

校長 黒島 俊一

学習発表会ご観覧ありがとうございました

～子供たちに温かい言葉を～

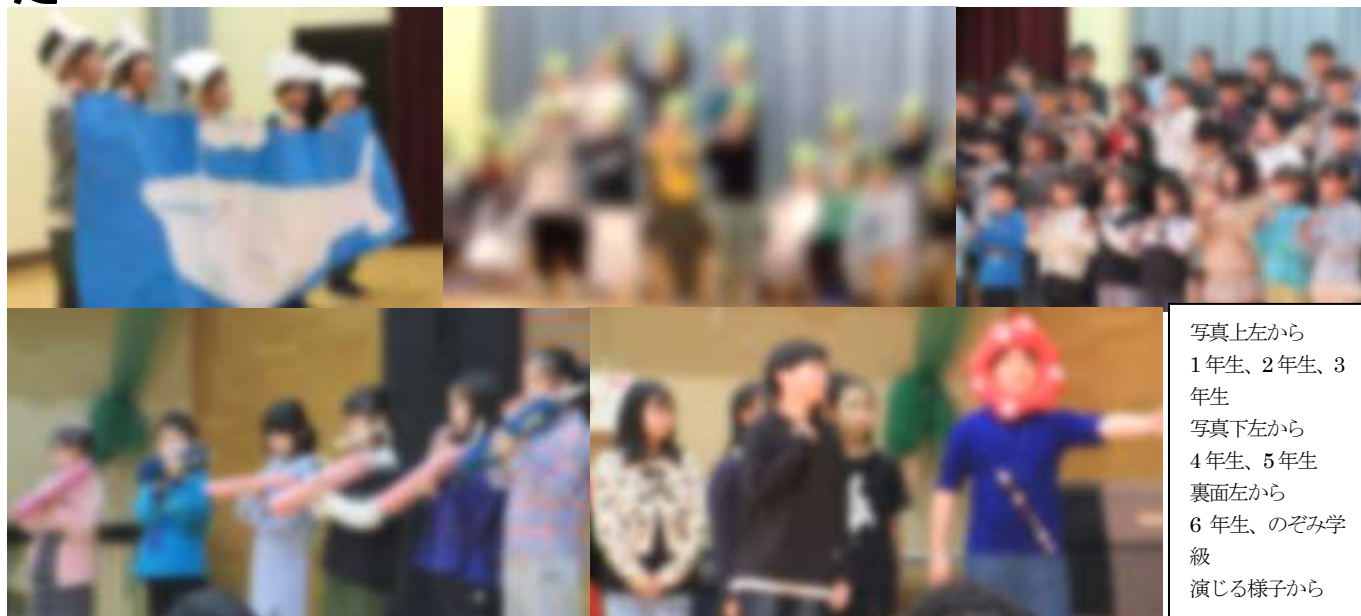
7日に行われた学習発表会にはたくさんの保護者のみなさん、またご来賓の方々がお見えになりました。子供たちの晴れの舞台はいかがだったでしょうか。

子供たちは学習発表会に向け、歌や合奏の練習に頑張ったり、セリフ等を覚えてしっかり発声したり、自身の役割を果たすため一生懸命に取り組んできました。学習発表会は一人の力でどうにかなるものではありません。子供には一人ひとりに確かな役割があって、一つひとつの役割が一つに束ねられて、一つのことを成し遂げた結果として、素晴らしいステージという成果を上げることができるのです。

学習発表会が終わってから、来賓の皆様や保護者、祖父母の皆さんがお帰りの際には、「いい発表でした。感動しました」「(アナウンス、挨拶、終わりや始まり等)メリハリがあって、とても見やすかったです」「場内が明るくて子供たちの顔がよく見えました」など、たくさんの方から、たくさんのお褒めの言葉をいただきました。

どの学年の発表も、限られた時間での取組と発表でしたが、心打つ大変素晴らしい発表でした。どうかご家庭でもお子さんに温かい言葉をかけてほしいですし、それが次へのエネルギーになるものと思います。今後とも、色々な場面で頑張っている我が子に、感動・感激・感心に溢れた笑顔と、励みと力になる声掛けをよろしくお願いします。

子供たちは小学生のこの時期、大人の数倍の早さで毎日様々なことを感じ、学び取っています。何かができるようになっていくことは自身の喜びであり、大人にはよりよい子供の成長を願い、よりよく学び成長できる環境づくりをする役割があります。教師や友人、そして家庭や地域ぐるみで、みんなで励ましあって、認めてくれているからこそ、子供たちはあきらめずに努力し、成長を実感できると思います。もちろん、最後は本人の努力次第ではありますが、教師の指導や助言、友人とのつながり、ご家族のよいのかかわりがなければ、これからの様々な壁は乗り越えられません。今後とも、お子さんを中心に据え、家庭と学校が手をつなぎながら、学校の取組へのご理解とご協力をよろしくお願いします。



写真上左から
1年生、2年生、3
年生
写真下左から
4年生、5年生
裏面左から
6年生、のぞみ学
級
演じる様子から

最高の舞台が最高の客席から生まれました



帯広市小中学校造形展

11月6日～11月10日 帯広市民ギャラリーにて



イヤイライケレ スイウヌカラアンロー



4年生では毎年、おび学で「アイヌ文化」を学ぶことが恒例となっていて、百年記念館の方と帯広カムイトウウボボ保存会（酒井奈々子会長）の皆さんを講師に、アイヌの人々に受け継がれてきた伝統文化や言葉、古式舞踊などを学びました。

中でも、バツタの大量発生で大きな被害がでた昔の時代、和人とアイヌの人々が一緒に駆除した歴史のある「バツタ踊り」（写真下）など、踊ってみると腰などが結構きついものがありましたが、みんなで体を動かしながら、楽しく学ぶことができました。

ちなみに表題のアイヌ語の意味は、

イヤイライケレ：ありがとうございました

スイウヌカラアンロー：また会いましょう

素晴らしい作品の数々でした。

学校代表出品者 15名（敬称略 3年〇数字はクラス名）

1年	田辺 椿稀	折原 蓮	2年	曾我 優月	中島 楓人
3年①	安藤 剣治	大羅 心愛	3年②	平田 駿介	横山 朔歩
4年	櫻田 紫恩	樺澤 知希	5年	廣瀬 未織	柴田 結衣
6年	矢部 結愛	荒井 彩瑚	のぞみ	大寺 遥綺	



帯広小の 今日のきらきらさん

第12回フードバレーとかちマラソン 完走賞①

4年 堀井 結桜 さん（写真左の左）
1年 堀井 蒼桜 さん（写真左の右）
6年 吉田 龍毅 さん（写真右の左）
6年 担任 岩井 裕 先生（ハーフ）（写真右の右）
過去最大の参加人数だった11月2日の今年のフードバレーマラソンは、悪天候で大変寒い中でしたが、みなさん頑張りぬきました。完走おめでとうございます。



本市他校でもインフルエンザ等の流行で学級閉鎖措置が見られます。服装やマスク着用、うがい手洗いの励行等お子さんへお声掛けをお願いします。